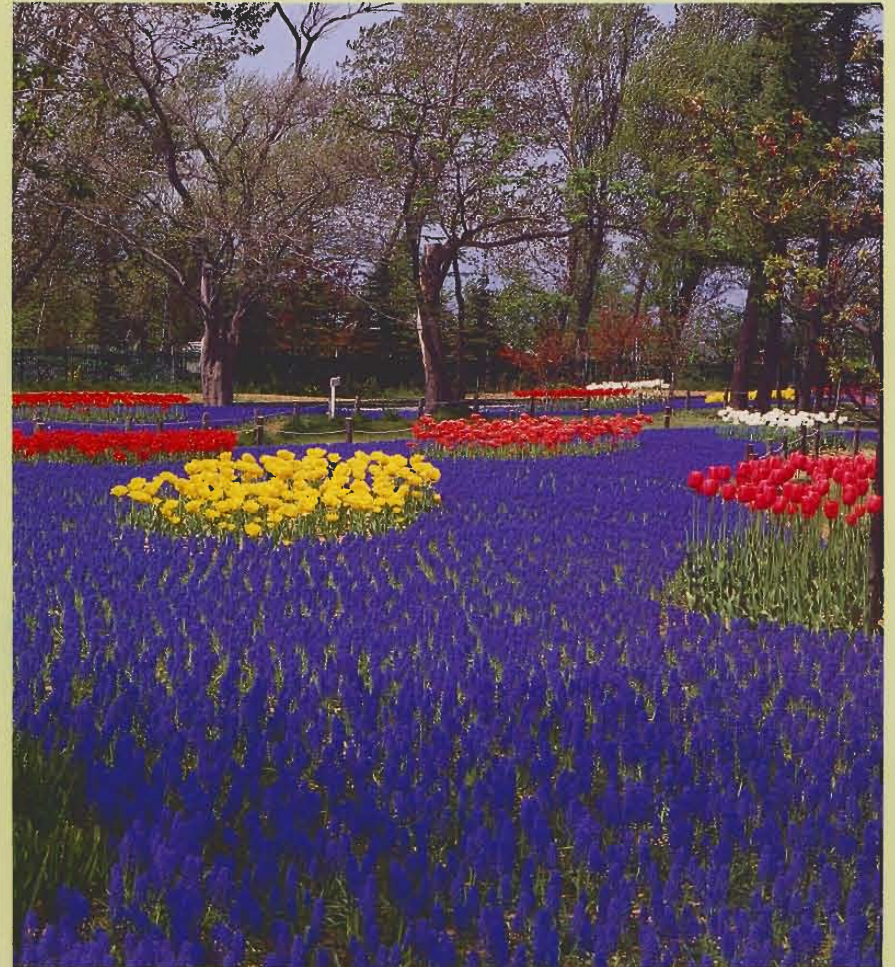


すくすくみどり

No.3 花めぐり～札幌とその周辺



(財)札幌市公園緑化協会

花をたずねてみませんか

緑のある生活は、私たちにとってかけがえのないものです。

この緑に赤や黄色の“花”の彩りを加えれば、私たちの生活もうるおいとやすらぎのあるより一層豊かなものになります。

この小冊子では、札幌市内で身近に“花”を見ることができると主な場所やマイカーで「ちょっと遠出を」という人にも“花”が見られるような所も紹介しました。

“花”のウォッチングのためのガイドブックとして、お役に立てればと思います。

目 次

百合が原公園	P 2～5
豊平公園緑のセンター	P 6～7
☆都市緑化植物園とは	P 7
平岡樹芸センター	P 8～9
☆紅葉はどうして赤くなる?	P 9
円山公園	P 10
旭山記念公園	P 11
平岡公園	P 12～13
・発寒河畔公園	P 13
・三笠市邦梅園	P 13
大通公園	P 14～15
☆札幌の花まつり	P 15
農業センター	P 16～17
滝野すずらん丘陵公園	P 18～19
北大植物園	P 20～21
☆高山植物を楽しむ	P 21
円山原始林	P 22
野幌森林公園	P 23
西岡レクの森	P 24
八剣山	P 24
☆早春の野草三三図鑑	P 25
八紘学園	P 26
☆花菖蒲	P 27
・長沼花菖蒲園	P 27
ちさきバラ園	P 28
・中島公園百花園	P 28
石狩マクンベツ湿原ミズバショウ群生地	P 29
麒麟ガーデン	P 30
近隣の緑のセンター（小樽・岩見沢・苫小牧）	P 31
ちょっと遠出してみませんか?	
・静内町桜並木	P 32
・上富良野町ラベンダー園	P 32
・北竜町ひまわり	P 33
・大雪山旭岳高山植物	P 33
札幌花ごよみ（サクイン）	P 34～35
道内の主な花まつり	P 36

※料金、花の数等のデータは平成3年1月末現在のものです。

百合が原公園

見られる花：ユリ、チューリップ、ムスカリ、ラベンダー、ルピナス、山野草、宿根草類、温室植物

所在地：札幌市北区篠路町太平210番地外

交通：①地下鉄麻生駅より中央バス北77「篠路小学校行き」で百合が原公園前下車すぐ
②地下鉄栄町駅より中央バス北29「教育大行き」で百合が原公園東口下車すぐ
③JR札幌線百合が原駅下車徒歩5分

駐車場：普通280台、大型4台

問合先：百合が原公園管理事務所 ☎011-772-4722
温室・緑の相談 ☎011-772-3511



場 所	世界の庭園	温 室	リートレイン	レストラン	他区域
開園期間	4/29～10/31	1/4～12/28 月曜休館 (祝日の時は翌日)	4/29～10/31 7・8月毎日 他は土日祝	4/29～10/31 7・8月毎日 他は月曜休み	制限無し
開園時間	8:45～17:15	8:45～17:15	10:00～16:00	10:00～18:00	制限無し
入場料	大人 100円 子供 50円	大人 100円 子供 50円	一人1回 300円	—	無料

ユリ園



百合が原公園は、昭和54年に造成が始まり、62年に全域(23.9ha)が完成した。昭和61年には全国都市緑化フェア「花と緑の博覧会」が開催され、全国的に知られるようになった。公園には季節の花が楽しめるように多くの植物が植えられているが、中でも公園名になっているユリは、約5haのユリ園に80種類、12万4千球もあり、全国でもここでしか見られないユリも多い。

開花期は6月中～9月上旬であるが、最盛期は7月の上～中旬で、この時期には“ゆりまつり”も開催される(P15参照)。

この公園にはこの他にもすばらしいお花畑が楽しめる。まず、5月上～下旬にはチューリップとムスカリの大花壇が見事である。約1,000㎡の花壇一面が青紫のじゅうたんを敷つめたようになり、その中に赤や黄色のカラフルなチューリップが島のように浮かんでいる景観は、まるで童話の世界に迷い込んだような気分だ。

6月にはいとユリもそろそろ咲き始めるが、公園の東側にある“花壇広場”では6月下旬頃からルピナス、シャクヤク、テルフィニウムなどの宿根草類が次々と咲き始める。とにかく広く数が多いので見ごたえは充分だ。

7月中～下旬には約4,000株のラベンダーが咲きそろい、その甘い香りと可憐な花で来園者を楽しませている。



ムスカリ

《百合が原緑のセンター》

公園のほぼ中程にある巨大なガラス温室が緑のセンターで、内部は大、中、小の3つの部屋に分かれている。大温室はツバキ(250種)とミカン類(70種)を中心に和風の庭園様式を取り入れ、落ち着いた雰囲気である。中温室では、球根を冷蔵貯蔵して開花調節した鉢植えのユリを一年中見ることが出来る。ユリの他にも四季折々の鉢花が工夫を凝らして飾られており、花があふれているといった感だ。小温室は洋ランの部屋で、当センターにある約700種、2,000鉢の洋ラン類の中から、開花したものを代わるがわる展示している。一年中洋ランの素晴らしい花が見られるが、厳冬の1月頃が最も華やかで見ごたえがある。

この他、緑の相談コーナー、図書コーナー、花の売店等があり、また季節に応じた花の展示会も開催され、花好きにはありがたい施設である。



緑のセンター



金花茶

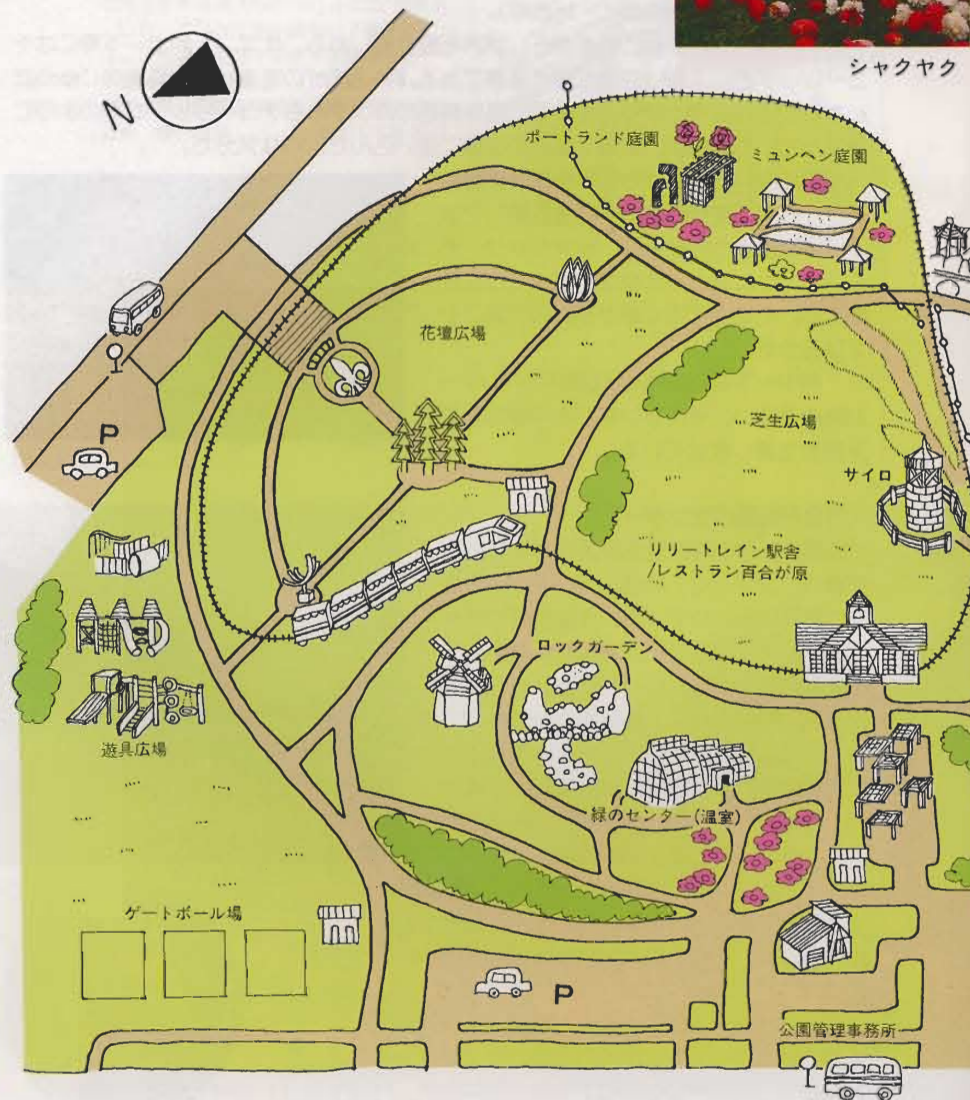
百合が原公園 案内図



ルピナス



シャクヤク

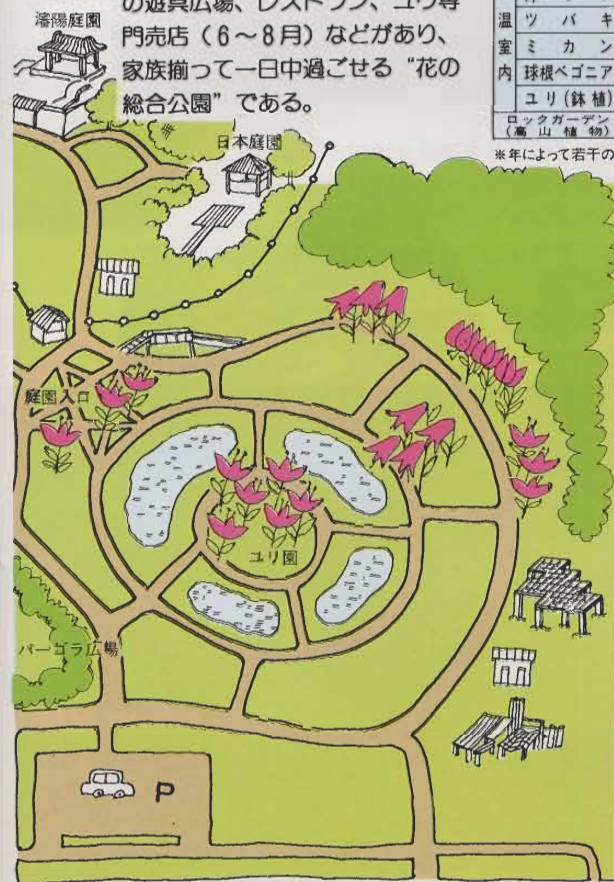


百合が原公園の花の開花期表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ユリ												
チューリップ												
ムスカリ												
ラベンダー												
ルピナス												
カスミソウ												
コスモス												
シャクヤク												
ハナショウブ												
レンゲツツジ												
ライラック												
ヘメロカリス												
アリウム・ギガンテウム												
洋ラン												
ツバキ												
ミカン												
球根ゴニア												
ユリ(鉢植)												
ロックガーデン(高山植物)												

※年によって若干の違いはあります。

開花期
種類減
実



リリートレイン



瀋陽庭園

豊平公園

見られる花：一年草、宿根草、球根植物、花木、室内植物、各種見本園

所在地：札幌市豊平区豊平5条13丁目
 交通：①中央バス東系統（60～64、70、72、75、80～88）で豊平3条12丁目下車徒歩5分
 ②市バス南57（美園）で八条中学前下車徒歩4分
 駐車場：普通50台、大型4台
 開園：緑の相談所 1/4～12/28 8:45～17:15
 月曜休館（月曜が祝日の時は翌日）
 問合先：豊平緑のセンター ☎011-811-9370



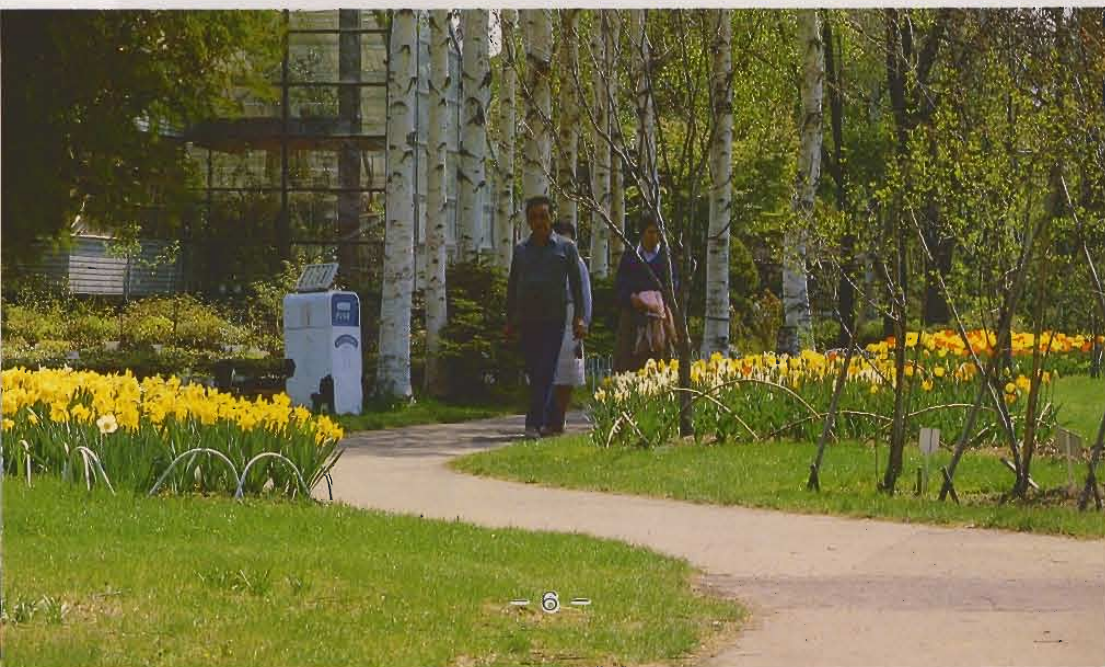
豊平公園は、農林水産省林業試験場の跡地を公園としたもので、昭和55年に完成した。

公園は7.4haで、このうち3.7haが緑の相談所を核とした、緑のセンター（都市緑化植物園）である。緑の相談所は昭和54年にオープンし、園芸相談員が二人常駐して市民の相談に応じている。

建物内には60人収容の講習室があり、各種の園芸講習会が盛んに行われている。また、園芸、造園、植物などに関する図書や雑誌類を自由に閲覧できる図書コーナーもあり、勉強するにはもってこいの環境だ。

園内には針葉樹、庭園、生垣、花木、野草などのいろいろな見本園が並び、家庭の庭作りなどの参考になる。

林業試験場であつたため、大きな樹木も多く、市民の憩いの場となっている。



緑のセンター



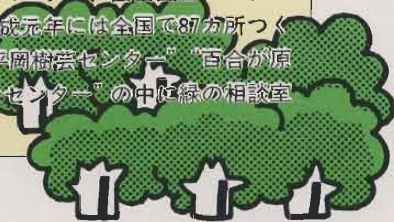
園芸相談



園芸講習会

都市緑化植物園とは

人口の集中する都市では近年、緑の減少が問題になっているが、公園などの公共の緑だけでなく、一般家庭の庭や窓辺などの緑化も都市の緑を増やすためには不可欠だ。そこで、市民の緑化意識を高め、また植物の栽培知識や技術を広めるためにつくられたのがこの都市緑化植物園である。各都市で一般によく利用される庭木や生垣などの植物見本園をはじめ、緑の相談コーナー、園芸図書コーナーなどを設置しており、昭和50年の制度発足以来、平成元年には全国で87カ所つくられている。札幌には“豊平公園緑のセンター”“平岡樹芸センター”“百合が原緑のセンター”の3カ所がある。この他、“麻生総合センター”の中庭緑の相談室があり緑の普及に努めている。



平岡樹芸センター

見られる花：モミジ、オンコ、ナツツバキ

所在地：札幌市豊平区平岡4条3丁目45番地

交通：①中央バス東系統（62～64、80）で平岡営業所前で下車徒歩10分

②地下鉄南郷18丁目駅から中央バスで平岡営業所前下車徒歩10分

③地下鉄大谷地駅から中央バス春風台団地行き終点下車徒歩4分

駐車場：普通35台

開園：4/29～11/3 8:45～17:15

月曜休園（月曜が祝日の時は翌日）

問合せ：平岡樹芸センター ☎011-883-2891



平岡樹芸センターは、札幌市が故竹沢三次郎氏から土地と樹木の寄贈をうけ日本庭園や庭木の相談所などを整備して昭和59年に開園した。

園内には、手入れのゆきとどいたオンコ（イチイ）が、約3,000本あり、丸く刈り込まれたものや生垣まで、管理の良さをうかがわせ、6月の新芽を吹く頃が最も美しい。

モミジ類はヤマモミジ、ノムラモミジ、ショウジョウノムラ、シダレモミジなど8種類ほど、700～800本植えられ、燃えるように色づく秋がみものだ。

芝生広場の一角にはナツツバキがみられる。ナツツバキは7月～8月にかけて白い清楚な花をつけ、幹肌の模様も美しく、地味ながらも上品な花見が楽しめる。

オンコ



日本庭園

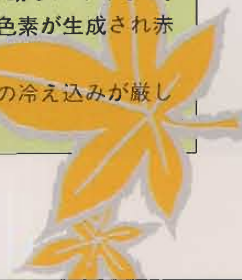


講習会

紅葉はどうして赤くなる？

植物の葉では光合成によってでんぷんが作られ糖分になって植物の体内のいろいろな場所に運ばれるが、気温が下がってくると葉から糖分が移動しにくくなる。その結果、葉に糖分が過剰になり、アントシアンという赤色の色素が生成され赤くなるのが紅葉だ。

気温が8℃を切るとそろそろはじまり、晴天が続き、かつ夜の冷え込みが厳しい方がより美しく紅葉する。



円山公園

見られる花：サクラ

所在地：札幌市中央区宮ヶ丘他

交通：地下鉄円山公園駅下車徒歩5分

駐車場：動物園に686台 有料 普通600円、大型1,000円

問合せ：札幌市公園管理課 ☎011-211-2536



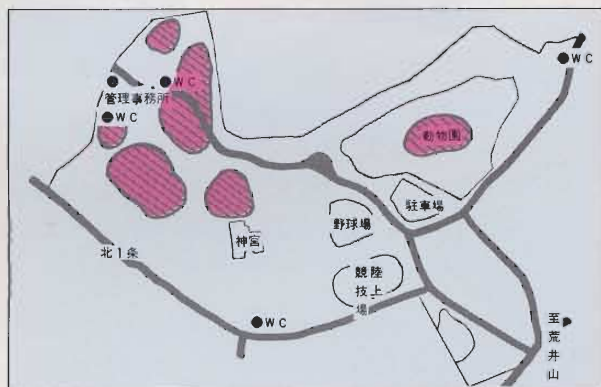
花見

北海道神宮の森と、円山原始林の懷にいだかれた緑豊かな公園で、動物園、野球場、総合グラウンドなどがあり、その歴史は古く、明治42年に開設されている。

札幌で花見といえば円山といわれるほど、この公園と北海道神宮境内の桜は有名だ。公園と神宮境内を合わせてエゾヤマザクラが1,100本、ソメイヨシノ200本、ヤエザクラ200本ほどある。

緑に囲まれた環境が魅力的で、花見の時期（5月上旬）には超満員で、場所取りは至難の技のようである。

緑を背にした淡桃色の花は、不変的な人気があるようだ。



サクラのおすすめポイント

旭山記念公園

見られる花：ヤエザクラ、ツツジ類

所在地：札幌市中央区界川4丁目

交通：地下鉄円山公園駅から市バス13で旭山公園下車

駐車場：普通53台 大型1台

開園：4月中旬～11月下旬 6:00～22:00（駐車場）

問合せ：旭山公園管理事務所

☎011-551-3618（開期のみ）

中央区土木事業所

☎011-661-1368



ヤエザクラ

ツツジ

札幌の街を眼下に見おろせる展望のすばらしい公園である。札幌創建100年を記念してつくられたため、“記念公園”の名がある。

鐘のある展望台を少し右手に下ったところに普通のサクラより少し遅れて咲くヤエザクラがある。規模は小さいが眼下にはすばらしい展望、見上げればバックに藻岩山の山並と、立地に恵まれた穴場である。

公園は藻岩山の登山口にもなっており、ちょっとした森林浴も味わえる。

夜は藻岩山にも劣らない市街地の夜景がみもの。

ヤエザクラの他に、ツツジ類も春の公園を彩っている。



平岡公園



梅林

見られる花：ウメ

所在地：札幌市豊平区平岡250番地
 交通：①地下鉄大谷地駅から中央バス春風台行き
 終点下車徒歩15分
 駐車場：普通200台
 開園：5月上旬～中旬のウメの開花期のみオープン
 問合先：札幌市造園課
 ☎011-211-2525



平岡公園は、昭和57年より造成され、現在も造成中のため、ウメの期間だけ仮オープンする。公園は完成時には58haの広大な面積となり、これからが楽しみなところだ。梅林は6.5haで、ウメの本数は11,000本（成木3,000、苗木8,000養成中）植えられている。ウメの種類は2種類で、白い花の豊後梅が80%、残りの20%はピンク色の紅梅である。

平岡の丘陵地帯に位置し、ゆるやかな起伏のある梅林はちょっとしたユートピア気分、開花時には大変なにぎわいである。このため200台収容の駐車場は常に満車状態なのでバス等での来園をおすすめする。

札幌市内にもう一カ所、ウメの見られるところを紹介しよう。

西区の発寒川の河畔につくられた発寒河畔公園である。昭和41年に開設され、紅梅が約200本植えられており、近隣の人たちの目を楽しませている。



発寒河畔公園

近郊の梅林

みかさ梅林 邦梅園

所在地：三笠市幾春別業丘町
 交通：①岩見沢より中央バス
 「幾春別行き」で桜木
 町下車徒歩5分
 ②道央自動車道三笠インターから約15分(11km)
 問合先：三笠市商工会
 ☎01267-2-2249



10haの敷地に昭和62年から植樹され、現在1万本に達している。毎年5月中旬には「梅まつり」が開催され新しい観光の名所となりつつあるようだ。

梅まつり

大通公園



見られる花：ライラック、バラ、一年草(花壇コンクール)

所在地：札幌市中央区大通西1～12丁目

交通：地下鉄大通駅下車すぐ

問合せ：札幌市公園管理課 ☎011-211-2536

大通公園は明治4年に火防線として設けられたのがはじまりで、札幌で最も古い公園といえ、全国的にもその名は知られている。この公園は幅約65m、全長1.5kmにもおよぶ東西に長いグリーンベルトで、ビジネスマンの憩いの場としての利用も多い。また、初夏のライラックまつり、夏まつり、12月のホワイトイルミネーション、そしてビッグイベントの雪まつりと、イベント広場としても名高い。

現在、この公園は改修工事が進められており平成7年には全感が新しく生まれ変わる。



大通花壇



13丁目

12丁目

11丁目

10丁目

9丁目

8丁目

公園の西の端の方にはバラ園があり約1,000株のバラが初夏から秋にかけて咲きほこっている。ライラックは西7丁目付近に多く見られる。大通公園で有名なのは西1～7丁目に設けられた50カ所の花壇である。

これらの花壇は市内の花関係の会社などによって四季折々の花が植えられ、中でも夏には花壇コンクールが開催され、そのデザインをきそいあっている。

一年草の花色のあざやかさは夏の涼しい北国ならではの美しさである。

札幌の花まつり



ライラックまつり

【ライラックまつり】大通公園

毎年5月の最終日曜を最終日とする3日間に行われる。昭和34年より開催されているロングランイベントで、初日には約3,000本のライラックが無料配布される。オープニングセレモニーや写生会、音楽祭などがあり、満開のライラックに一層華やかな彩りを添えている。

【ゆりまつり】百合が原公園

昭和63年より始まった新しい祭りで、百合が原公園のユリの開花の最盛期にあたる7月上旬～中旬に開催される。花が主役の静かなイベントでユリ苗プレゼントやリリートレインスピードくじ、野点、園芸講習会、ゲートボール大会などが催されている。



ゆりまつり



菊まつり

【菊まつり】大通地下街

10/31～11/3の4日間、地下街オーロラタウンで開かれる。昭和38年より始まったが地下街で行うようになったのは49年からである。約320点の丹精こめた優秀な作品が街行く人の目を楽しませており、晩秋には欠かせない風物詩だ。



7丁目

6丁目

5丁目

4丁目

3丁目

2丁目

1丁目

札幌市農業センター

見られる花：シャクナゲ、ボタン、エリカ、バラ、
カルーナ、山野草

所在地：札幌市南区小金湯605番地
交通：じょうつバスまたは市バス「定山溪行
き」で、小金湯温泉下車徒歩5分
※駐車スペースは少ない

休 園：日曜・祝日、12/28～1/3

見学時間：9:00～16:00

問 合 先：札幌市農業センター

☎011-596-2555

※団体の方は事前に申し込みを



農業センターは野菜や花の試験栽培や調査などをして、生産農家に対して技術指導
を行い、札幌の農業の先導的な役割を果たしている。

センターは札幌市南区の国道230号線沿いにあり、園内から神威岳と八剣山が望まれ、
緑あふれる山々に囲まれた環境にある。

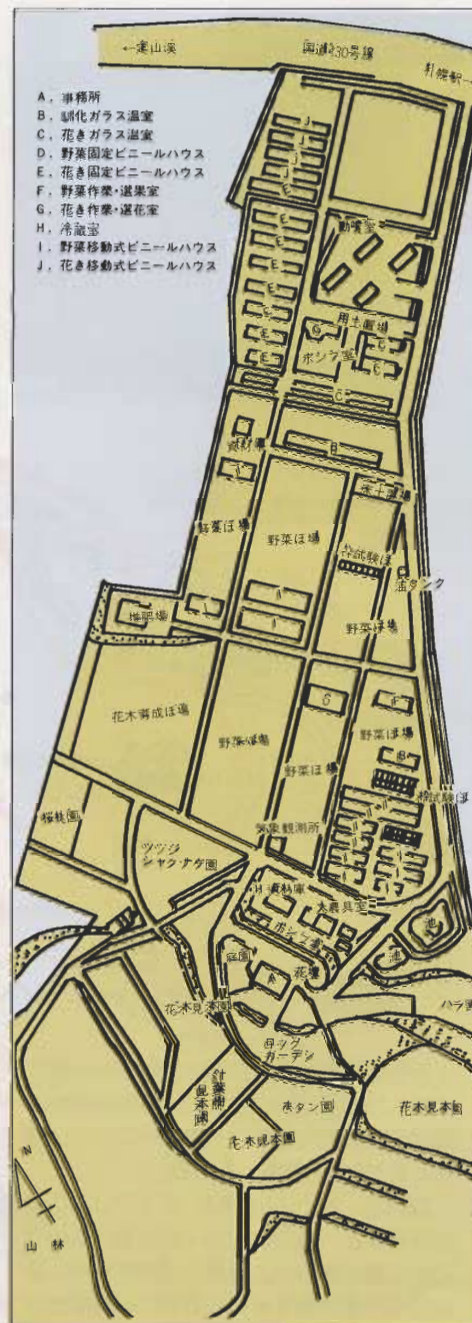
総面積12.6haの中に野菜や花の圃場、ビニールハウス、見本園などが並んでいる。
見本園は、ツツジ・シャクナゲ園（約390品種）、エリカ・カルーナ園（約50種）、ボタ
ン園（約40種）、バラ園（約180品種）、花木園（9,123㎡、約320品種）、針葉樹園（約
60品種）、ロックガーデン（1,250㎡、約1,200品種）と盛りだくさんで、見学者の目を
楽しませてくれる。国道に近いところに、販売用鉢花の温室もある。

観賞を目的とした施設ではないので、見学の際は必ず事務所に立ち寄り、立入禁止
区域などには入り込まないようにマナーを守って見学しよう。

シャクナゲ



カルーナ



- A. 事務所
- B. 訓化ガラス温室
- C. 花きガラス温室
- D. 野菜固定ビニールハウス
- E. 花き固定ビニールハウス
- F. 野菜作業・選果室
- G. 花き作業・選果室
- H. 冷蔵室
- I. 野菜移動式ビニールハウス
- J. 花き移動式ビニールハウス



ロックガーデン内のコマクサ



ボタン

農業センター花ごよみ

植物名	4	5	6	7	8	9
エリカ						
カルーナ						
シャクナゲ						
ボタン						
バラ						
山草類						

国営 滝野すずらん丘陵公園

見られる花：カタクリ、ミズバショウ、スズラン、シバザクラ

所在地：札幌市南区滝野57番地

交通：①中央バス滝野線(南102)札幌ターミナルより期間中毎日運行
②中央バス有明線(東87)札幌ターミナルより夏期のみ運行
③市バス滝野線(南92)地下鉄真駒内より4/29～11/4土日祝のみ運行

駐車場：1,468台 有料 普通310円 大型1,030円 自200円

開園日時

春 4月下旬～6/30 9:00～17:00

夏 7/1～8/31 9:00～18:00

秋 9/1～11月上旬 9:00～17:00

冬 1月上旬～3月 9:00～16:00

※開園期間、交通の便などは年によって多少かわるので問い合わせ要。

問合先：滝野管理センター ☎011-592-2222

テレホンサービス ☎011-592-3333



渓流沿いのシバザクラ



滝野すずらん丘陵公園は札幌の中心部から南へ18km、丘陵地帯にある面積約396haの国営公園で昭和58年に一部オープンし、現在、約110haが開園している。

森林浴、釣り、川遊び、サイクリング、炊事遠足と、緑の中で一杯に遊べるのがこの公園の魅力だ。自然の地形を利用した沢沿いの遊歩道を歩くとかわいい野草たち

がむかえてくれる。4月の下旬になるとミズバショウ、カタクリが咲き始め、続いて5月下旬には川の両側がシバザクラでピンクに染まる。そのころから溪流沿いや山の上のすずらんの丘に、約32万株のスズランが白い花をのぞかしはじめ、6月中旬くらいまでみられ、その名のとおり「すずらん丘陵」公園である。

また、冬には歩くスキーの貸出しもあり、スノーフェスティバルなどの楽しい企画もあり一年中家族で楽しめる公園だ。



カタクリ



ミズバショウ



スズラン

北海道大学付属植物園

見られる花：ライラック、山野草

所在地：札幌市中央区北3条西8丁目

交通：JR札幌駅徒歩8分

開園日時：4/29～9/30 9:00～16:00

10/1～11/3 9:00～15:30

冬期間は温室のみ開館

(時間は10:00～15:00)

休園日：月曜(月曜が祝日の時は翌日)

冬期温室は日曜、12/29～1/4

入場料：大人360円、子供250円

冬期温室は100円

問合せ：北海道大学附属植物園

☎011-221-0066



ロックガーデン



ライラック並木

札幌の都心部に位置するこの植物園は、クラーク博士の提案で明治19年に開園した。

ハルニレの大木や林内のオオウバユリなどは札幌の昔の面影をとどめている。

芝生広場にはライラックが列植されており、花の時期には写生などに訪れる人も多い。ここには一般のライラックの他に、シセンハシドイやハンガリーハシドイなど、他ではあまり見かけない原種も植えられている。

これらの変わり種は花の時期も少し遅いものが多く、6月中旬くらいが見頃ようだ。

日本で一番古いライラックは園内の旧札幌農学校植物学講堂の前のもので、初代園長、宮部金吾教授が導入したものといわれており北海道の中でも最大級の大株である。

園内の南側には5,000㎡、約600種類の高山植物が見られるロックガーデン(高山植物園)がある。これは大雪山トムラウシ山をイメージして作られており、火山灰地、石灰岩、蛇紋岩、湿地などの生育地の条件別に植物が植え込まれている。

ロックガーデンに隣接して温室があり、バナナやオオオニバスなどが見られる。



オオオニバス

この他、園内にはアイヌ民族などの北方アジアの諸民族が生活に利用した植物を集めた北方民族植物標本園や、草本分科園、灌木(低木)園などの北国ならではの見本園も見られる。

園内の樹木は大きく、リスや小鳥もたくさん見られ、都会の中心部とは思えない、まさに都市のオアシスである。

高山植物を楽しむ

高山植物などの山野草類は、大小の石を組み合わせたり積み上げたりして、その石と石の間に植物を植え込んで栽培する場合が多い。

このようなものをロックガーデンと呼んでいる。

一般的には盛土し、底の方に大きめの砂利などをいれ排水をよくし、植物を植え込む土も火山礫など排水の良いものを使う。年数がたつと石に苔がついたり、植物が石に覆いかぶさったりして、自然風な味わいがでて来る。梅雨がなく夏冷涼な北海道では作りやすく一般家庭でも小規模なものならあまり手間もかからず十分楽しめる。



- 23 -

【西岡レクの森】

西岡公園（西岡水源池）にある木道を月寒川に沿ってさかのぼって行くと自然歩道の入り口に出る。

このコースは国有林の西岡風景林内にあり、周辺は樹齢30年以上のトドマツが生い茂っている。また、所々にある湿地にはミスバショウやミヤマエンレイソウの群生がみられる他、歩道の両側には可憐な野草が顔を出す。

コースはなだらかで一時間ほどで一周できる。時間に余裕のある人はこのコースに接続して真栄、有明方面に通じる自然歩道もあるのであわせて利用してみては。



【八剣山】



国道230号線を定山溪に向かうと藤舞を過ぎたところ右手にみえるギザギザの岩山が八剣山だ。国道からみて左の端に西登山口がある。登山口を少し登るとすぐ平らなササ原に出て、山を真横から見ながら道は進む。この辺りから、4月下旬には歩道の両側が真っ青になるくらいにエソエンゴサクが群生し、山頂直下まで続く。尾根に出ると展望が開け、切り立った岩山のスリルも味わえる。登山口から山頂までは40分くらいで、手軽に、花、展望、岩を楽しめる山である。



八剣山頂上付近

早春の野草三二図鑑



ニリンソウ
キンボウゲ科
白い花が群生する山菜としても美味だが猛毒のトリカブトの芽出しに似ているので注意！

エゾノリュウキンカ
キンボウゲ科
ヤチブキの別名があるように葉はフキに似ており湿地に生える。山吹色の大形の花をつける。



エソエンゴサク
キンボウゲ科
花色は空色から赤紫まで変異がありまれに純白のものもある。葉の細いものを特にホソバエソエンゴサクともいう。

フクジュソウ
キンボウゲ科
春一番、雪解けと共にいつの間にか咲いているのがこの花だ。光るような花びらが暗い森の中で一際美しい。



エンレイソウ
ユリ科
三枚の葉のまん中から出るエビ茶色の花は特徴的である。白い花をつけるものに、オオバナノエンレイソウ、ミヤマエンレイソウがある。

ナニワス
ジンチョウゲ科
草ではなく樹木である。落葉樹であるが初夏に落葉し8月下旬新葉を開くので冬は雪の下で青い葉をつけている。



ミスバショウ
サトイモ科
湿地に生える植物で大きな白い花のように見えるのは葉の変化したもので花は中にある黄色い部分である。

ヒトリシズカ
センリョウ科
一本に一花つけるのでこう呼ばれるが、何本かたまたましているので孤独な印象はあまり受けない。



学校法人 八紘学園

見られる花：ハナショウブ

所在地：札幌市豊平区月寒3条11丁目
 交通：中央バス東80、85、86月寒線で八紘学園前下車
 駐車場：あり
 開園日時：7月上～下旬のハナショウブ開花時の約20日間
 9：00～17：00
 入場料：1人200円
 問合先：八紘学園 ☎011-851-8236



八紘学園は月寒にある農業専門学校で、ここのハナショウブは有名だ。ハナショウブ園は、面積2.3ha、3系統350品種、21万株のハナショウブで埋めつくされており、紫、白、青、ピンクとその豊富なパリエーションが満喫できる。

即売も行っており、ハナショウブだけでなく樹木や季節の花も販売している。



花菖蒲



野生のノハナショウブ

ハナショウブは日本の伝統的な園芸植物のひとつで、江戸時代の中頃から育種が行われてきた日本人にはなじみの深い花だ。

ハナショウブによく似たものに、アヤメ、カキツバタがあるが、これらを総称して「あやめ」という人が多い。「いずれあやめかかきつばた」といった言い回しもあるように区別がつけにくいのは事実である。

分かりやすい区別は、葉のまん中の脈がふくらんでいるのはハナショウブ、はなびらの付け根に茶色の網目模様のあるのはアヤメ、くらいだろうか。

また、ハナショウブのことを単に「しょうぶ」と呼ぶことも多いが、ショウブはサトイモ科の全く違う植物で、端午の節句に使うのはこの「ショウブ」の方である。

ハナショウブは極端な乾燥は嫌うが決して水辺の植物ではない。

水辺を好むのはカキツバタで、各地のハナショウブ園で水辺に植えてあるように見えるのは観賞用に開花時だけ水を引いていることが多い。

ハナショウブは古来より梅雨を告げる花とされており、6月の雨空にひっそりと、清楚に咲くイメージが強いが、梅雨がなくて涼しい北海道では7月中旬頃に最盛期をむかえる“夏の花”である。



アヤメ類の親水性

近郊の花菖蒲園

長沼花菖蒲園

所在地：夕張郡長沼町東12線南15号
 開園日時：開花期（7月上～下旬）
 9：00～19：00
 駐車場：あり
 入場料：高校生以上1人300円
 問合先：☎01238-4-2462（高橋宅）
 約3.9haの畑に500種、500万本植えられている。即売もある。



ちざきバラ園

見られる花：バラ

所在地：札幌市中央区伏見3丁目

交通：地下鉄円山公園より市バスロープウェイ線
慈啓会病院下車徒歩15分

駐車場：あり

開園日時：5/1～10月中旬 9:00～17:00

〈喫茶店〉通年営業

9:00～17:00と18:00～22:00

冬期の月曜と年末年始は休み

入園料：大人350円、子供250円

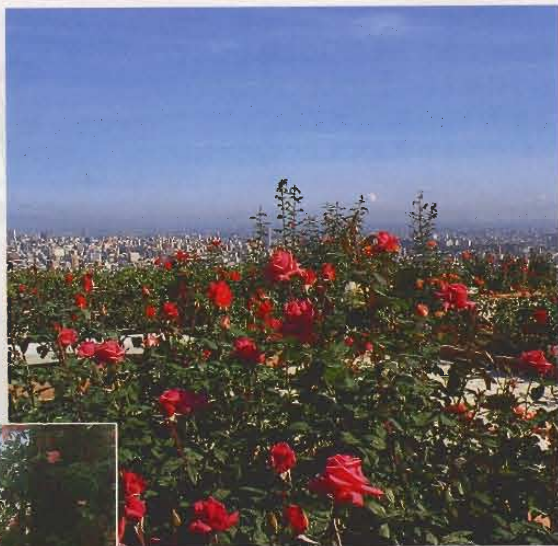
問合先：ちざきバラ園 ☎011-551-1430



藻岩山の麓、標高93メートルの高台にあるちざきバラ園では約1.8haの敷地に370種3,700株のバラが美しさをきそいあうように咲いている。

開花時期は年2回で、1回目の開花は6月下旬～8月上旬（7月初めが最盛期）で、2回目は9月上旬～10月中旬である。

園内には売店・喫茶店があり、売店にはバラの香水やシャンパーなどのローズグッズが並び、なかなか好評だ。喫茶店は展望がよく、夜景もすばらしいのでここだけは夜も冬も営業している。バラのアイスクリームなどがおすすめで、若いカップルにはムード満点だ。



ちざきバラ園

この他、街の中心部中島公園百花園では約90種、1,500株のバラが見られる。

昭和33年につくられたもので、2.6haの敷地にバラをはじめ、サクラ、ツツジ、アジサイ、ライラックなど約50種の花木類が植えられている。



中島公園のバラ

石狩マクンベツ湿原ミズバショウ自生地



ミズバショウ群落

見られる花：ミズバショウ

所在地：石狩郡石狩町大字生振

交通：大通中央バスターミナルより石狩行き
整備工場下車徒歩20分

時期：4月中旬～5月上旬

（雪解けの時期によって多少変わります）

問合先：石狩町役場 ☎0133-62-3301



石狩街道をずっと北上して石狩町に入り、石狩大橋方面に向い橋の手前を右に折れると左側の河川敷にハンノキ林が見えて来る。その林の下がミズバショウの群生地だ。かつては、北海道であちこちにみられた風景だが、開発が進んだ今日、まとまって見られるところは少ない。この群生地は約44haあり札幌近郊では最大であろう。現在、石狩川の堤防工事が行われており、約7%のミズバショウが埋め立て区域にかかるため、部分的に移植が行われている。工事は平成6年頃には完成予定で、堤防が新しくなると車からミズバショウは見えなくなるが、駐車スペースや展望用テラス、歩道などが整備される計画である。

キリンビール千歳工場 キリンガーデン

——トロピカルドーム——

見られる花：洋ラン、温室植物

所在地：千歳市上長都949-1

交通：JR長都駅より徒歩10分
札幌から車で50分

駐車場：あり

開館日時：1/2～12/30 10:00～18:30
(第4月曜は休み)

問合先：キリンガーデン ☎0123-24-5606



温室

国道36号線を千歳市内に入ると、左手にキリン工場の看板が見える。

工場内に約3.6haの市民に開かれた“キリンガーデン”があり、その中でひととき目立つのが温室（トロピカルドーム）である。入口を入るとスクリーンのように流れ落ちる滝がありわくわくしてくる。滝の横を通り抜けるとランの部屋だ。

ランは200～250株展示されており栽培室にあるものも含めると5,000株にもなるそうだ。ランの甘い香りがうっとりさせてくれる。

ラン室を抜けると熱帯温室で、熱帯の花や果物が約200種、3,000株ほど展示されている。温室の他に、レストラン、ビールの博物館などもあり、ゆっくりとくつろげる。

洋ラン



近郊の緑のセンター

札幌の近郊都市にも各地に緑のセンターがあり、緑の相談や園芸講習会などが開かれている。
【小樽市手宮緑化植物園】

所在地：小樽市手宮3丁目12番1号

開園日時：4/29～11/3 9:30～16:30

月曜休園

問合先：☎0134-22-7773

小樽の海を見おろす高台にある手宮公園の中に緑化植物園がある。園内には桜園、梅園、ツツジ園、シャクナゲ園、ボタン園などがつくられ、市民の目を楽しませている。緑の相談所には相談コーナー、図書コーナー、サンルームなどがある。



【岩見沢市緑のセンター】

所在地：岩見沢市志文町794

開園日時：1/6～12/30 9:00～17:00

月曜休園

入館料：大人100円 子供50円

問合先：☎0126-25-6111

三井グリーンランドのあるいわみざわ公園内にピラミッド型の温室を持つ緑のセンターがある。

温室内は大型のヤシやストレリチアなどが見られる。月1回の講習会は好評で、周辺にバラ園などもつくられ、年々利用者は増えている。



【苫小牧市サンガーデン】

所在地：苫小牧市末広町3丁目1番15号

市民文化公園内

開園：5/16～10/14 9:30～20:00

10/15～5/15 9:30～18:00

休園：月曜（祝日の時は翌日）

毎月末日 12/31～1/6

問合先：☎0144-33-4411

大きなガラス温室の中はツバキやフスノキ、カシなどが植えられている。建物は図書館と併設されており、レストランや展示、講習室など施設は充実している。



ちよっト 遠出してみませんか？

● 静内町 桜並木



所在地：静内郡静内町二十間道路桜並木
 交通：札幌から車で約3時間
 問合せ先：静内町役場 ☎01464-3-2111
 時期：5月上旬

幅36m、長さ8kmにもわたる約1万本の桜並木は「日本の道百選」「桜名所百選」に選ばれた全国に誇れるものである。この桜の歴史は古く、大正5～7年の3年間に



近くの山から移植されたもので、エゾヤマザクラが85%、残りはカスミザクラ、ミヤマザクラである。

桜の時期の土日などは国道が混みあい、札幌から6～7時間覚悟しなければならないが、それにしても一見の価値はある。

● 上富良野町 ラベンダー園



所在地：空知郡上富良野町日の出公園
 交通：札幌から車で約3時間
 問合せ先：上富良野町観光係 ☎0167-45-3121
 時期：7月中旬

もう全国的にもすっかり有名なラベンダーといえば「ふらの」であるが、正確には上富良野町である。国道237号線を富良野市方面から上富良野町に入ると右側に日の



出公園ラベンダー園の入口が見えて来る。シーズンには大変なにぎわいでお土産品もたくさんある。

毎年7月中下旬にはラベンダー祭りがひらかれている。淡い紫色の花と、その上品な香りは飽きることなく、まだまだ人気は続きそうだ。

● 北竜町 ひまわり



所在地：雨竜郡北竜町ひまわりの里
 交通：札幌から車で約2時間
 問合せ先：北竜町商工観光課 ☎016434-2111
 時期：7月下旬～8月中旬
 （8月上旬最盛期）

最近、テレビや新聞にも登場してきた北竜のヒマワリだが、もともとは昭和55年に農協婦人部が健康食品として作りだしたのが始ま



りで、平成2年には60haものヒマワリ畑になり観光にも一役買っている。ヒマワリの種は体によく、健康食品などのおみやげも豊富だ。

8月上旬のひまわりまつりは10万人を超すにぎわいで、とにかく花の少ない8月に明るく太陽の下での「ヒマワリ」は魅力的だ。

● 大雪山旭岳 高山植物



所在地：上川郡東川町
 交通：札幌から車で約3時間
 問合せ先：旭岳ロープウェイ ☎0166-97-2234
 時期：7月中旬

北海道といえば高山植物、山といえば大雪山である。その最高峰、旭岳で自然の高山植物の姿を見るのもよい。

旭岳ロープウェイで娯見駅まで



チングルマ

のほり、そこから散策路がある。コースは何通りもあり、雄大な旭岳をバックにエゾツガザクラ、チングルマ、ミネズオウ、エゾコザクラ、チシマキキョウとかわいい花が足元を飾る。決してルートからそれたり、植物を踏んだりしないようにマナーを守ってほしい。手軽とはいえ高山であるため、天候の急変などを予想して、足元、服装、持ち物などは万全に行きたい。

札幌花こよみ

植 物 名	花 の 色	早春 春 初夏 夏 秋 晩秋										掲載ページ
		4	5	6	7	8	9	10	11			
フクジュソウ	黄											22.23.25
キバナノアマナ	黄											
ミズバショウ	白											19.23.24.25.29
ザゼンソウ	赤茶色											23
エゾノリュウキンカ	山吹色											25
カタクリ	桃											19
ナニワズ	黄											25
エゾエンゴサク	空色、白、紫											22.24.25
エンレイソウ	濃紫色											22.25
ニリンソウ	白											22.25
ヒトリシズカ	白											25
クロッカス	白、紫、黄											
エリカ	桃、白、紅											16
パンジー	多種あり											
スイセン	黄、白											
エゾムラサキツツジ	赤紫											
レンギョウ	黄											
キタコブシ	白											
エゾヤマザクラ	淡桃											10.32
ウメ	白、桃											12.13.31
ハクモクレン	白											
シモクレン	濃赤紫											
ムスカリ	青紫											3
チューリップ	多種あり											3
ヤエザクラ	桃、白、淡黄											10.11
シャクナゲ	多種あり											16.31
ヤマツツジ	朱赤											11
シバザクラ	桃、紅、白											19
フジ	紫											
レンゲツツジ	朱赤、黄											
ライラック	紫、白、桃											14.15.20.28
テマリカンボク	白											14
スズラン	白											19
ニセアカシア	クリーム											
オンコ(イチイ)	—											8

植 物 名	花 の 色	早春		春初夏				秋		晩秋		掲載ページ
		4	5	6	7	8	9	10	11			
アジサイ	紫、桃、白											28
ハマナス	鮮赤紫											
シャクヤク	紅、桃、白、黄											3
ボタン	紅、桃、白、黄											16.31
ルビナス	多種あり											3
ユリ	多種あり											3.15
バラ	多種あり											14.15.16.28
デルフィニウム	青、白、紫、桃											3
ラベンダー	紫											3.32
ハナショウブ	紫、白、青											26
ナツツバキ	白											8
カルーナ	桃、白											16
オオウバユリ	クリーム											20
ハギ	紅											
ヒマワリ	黄											33
ムクゲ	紫、白、桃											
キク	多種あり											15
コスモス	紅、桃、白											
モミジ類(紅葉)	—											8

【温室植物】

植 物 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	掲載ページ
洋 ラ ン 類													3.30
ツ バ キ													3.31
ミ カ ン 類													3
バ ナ ナ													21
オオオニバス													21

- 開花期
- 種類減
- 実
- 通年

道内の主な花まつり

期 間	ま つ り 名	場 所	問い合わせ先
4/29~5/5	水ばしょう祭	網走湖・女満別湖畔	01527-4-2641
5/1~5/20	松前さくらまつり	松前町松前公園	01394-2-2726
5/3~5/4	穂別つつじ祭り	穂別町森林組合グリーンセンター	01454-5-2111
5/3~5/20	森町桜まつり	森町青葉ヶ丘公園	01374-2-2432
5/10~5/31	かみゆうべつチューリップフェア	上湧別町チューリップ公園	01586-2-2111
5月上~6月上旬	芝ざくらまつり	滝上町滝上公園	015829-2730
5月第2日曜	水仙まつり	北檜山町玉川公園	01378-4-5406
5月中~下旬	たんぽぽフェスティバル	鶴川町タンポポ公園	01454-2-2411
5月中旬	梅まつり	三笠市邦梅園	01267-2-2249
//	しずない桜まつり	静内町二十間道路桜並木	01464-3-2111
5/25~6/15	恵山つつじまつり	恵山町つつじ公園内	0138-85-2331
5月下旬	さっぽろライラックまつり	札幌市大通公園	011-211-2376
6月中旬	ジャーマン・アイリス祭	旭川市金星橋土流右岸広場	0166-26-1111
//	藤まつり	丸瀬布町水谷町	01584-7-2121
6月下~7月上旬	厚岸あやめまつり	厚岸町原生花園あやめヶ原	0153-52-3131
7月第1日曜	小清水原生花園花まつり	小清水町小清水原生花園	0152-62-2311
7月上~中旬	ゆりまつり	札幌市百合が原公園	011-772-4722
7月第2日曜	霧多布湿原えぞかんぞうまつり	浜中町霧多布湿原琵琶瀬	0153-62-2111
7月上旬	オムサロハマナスまつり	紋別市オムサロ原生花園	01582-4-3900
//	サロベツ花まつり	豊富町サロベツ原生花園	0162-82-1728
7月中旬	しょうぶまつり	芦別市芦別温泉	01242-3-1155
//	いわみざわあやめまつり	岩見沢市あやめ公園	0126-22-3445
7月中~7月下旬	かみふらのラベンダー祭り	上富良野町日の出公園	0167-45-3121
8月第1土・日	ひまわり祭り	北竜町ひまわりの里	016434-2111
10月上旬	大滝紅葉まつり	大滝村三階滝公園周辺	014268-6353
//	大沼紅葉まつり	七飯町大沼公園広場	0138-67-3531
//	支笏湖紅葉まつり	千歳市支笏湖温泉	0123-24-8818
10月下旬	あかびら菊まつり	赤平市総合体育館	01253-2-2211
//	帯広菊まつり	帯広市中央公園	0155-24-4111
//	北見菊まつり	北見市東陵運動公園	0157-25-1148
//	くしろ菊まつり	釧路市	0154-41-4141
//	なかしべつ菊花展	中標津町東7条公園横	01537-2-3237
10/31~11/3	さっぽろ菊まつり	さっぽろ地下街	011-211-2376

現在、全道には100以上の花まつりがありますが、ここでは札幌市及びその周辺地域の主な花まつりの他、比較的知名度が高いと考えられるものや珍しい花まつりなどを掲載いたしました。

参考資料 「北海道のイベント'90.4~'91.3」 発行 財団法人北海道市町村振興協会

財団法人 札幌市公園緑化協会の役割

当協会は、「札幌市都市緑化基金」を造成し、これを有効に運用して民有地の緑化を積極的に進めるために設立されました。

緑は、都市の良好な環境を作るうえで重要な役割を果たすと同時に、私たちの生活にうるおいとやすらぎを与えてくれます。

私たちは「緑あふれるまちづくり」を進めるため、この「都市緑化基金」の造成に鋭意努力しております。

この使命達成のため是非皆様方のご協力とご支援を心からお願い申し上げます。

都市緑化基金の募金にご協力を！

広げよう緑の輪……緑でつつもう 札幌のまち

緑化基金は、このような事業に役立っています。

民有地緑化の事業

- ・春と秋の記念樹の無料配布を行っています。
- ・町内会や自治会等にフラワーポットを無料で貸し出しています。
- ・ツタによる壁面の緑化を助成しています。

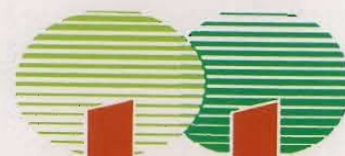
etc

緑化普及・啓発活動

- ・緑化に関する展示会等の開催や後援を行っています。
- ・百合が原公園でゆりまつりを開催しています。
- ・「緑の絵」「緑の標語」コンクールを開催しています。

etc

〈この刊行物も基金の果実の一部で作成しています。〉



GREEN CITY SAPPORO
基金に関するお問い合わせは

札幌市環境局緑化推進部自然保護課

〒060 札幌市中央区南1条東1丁目
大通バスセンタービル1号館
TEL 211-2532

(財)札幌市公園緑化協会

〒060 札幌市中央区南1条東2丁目
オフィス1.2ビル
TEL 211-2579